

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2016年8月11日		
所属学部	法経学部		
所属学科・専攻	経済学科		

1. 留学先について

留学先大学名	インドネシア大学			
留学先所属学部等	経済学部			
留学期間	出発日 8月14日	入学日 8月31日	修了日 6月11日	帰国日 6月22日
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他()			
	通学時間	10分		<input type="checkbox"/> On campus
	通学方法	徒歩		
	居室スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> () 人部屋 <input type="checkbox"/> その他()		
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室 <input type="checkbox"/> キッチン <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> リビング <input type="checkbox"/> その他()		
食事	自炊 5 %	学食 35 %	外食 60 %	その他 () * %で記入してください
保険	海外旅行保険(名称)	AIU		
	大学指定の保険(名称)			<input type="checkbox"/> 強制加入
	その他			
渡航ルート	ex.) 成田⇔シカゴ(飛行機)⇔ウィスコンシン(電車)			
	成田 ⇔ ジャカルタ(飛行機) ⇔ デポック(車)			

2. 留学にかかった費用について

総費用	1000000	円	* おおよそでかまいません。	
出処				
自費	<input checked="" type="checkbox"/> 貯金 100000 円	<input checked="" type="checkbox"/> アルバイト 200000 円	<input type="checkbox"/> その他	円
援助	<input checked="" type="checkbox"/> 両親 200000 円	<input type="checkbox"/> 家族・親戚	円	<input type="checkbox"/> その他 円
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO 700000 円	<input type="checkbox"/> その他名称()		円
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 千葉大学助成金 180000 円	<input type="checkbox"/> その他()		円

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/> 現金	30000	円	<input type="checkbox"/> その他()	円
留学中	<input type="checkbox"/> 海外送金	<input checked="" type="checkbox"/> キャッシング	<input type="checkbox"/> その他()		

2-2. 各費用の支払い方法 ex.)全額、クレジットカードで。

大学に払った費用	
住居にかかった費用	全学、現金
その他	

2-3. 内訳

* 外貨で払ったものについては日本円に換算したおおよその金額も記入してください

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			150000	円
海外旅行保険			150000	円
OSSMA			30000	円
査証・在留許可証			20000	円
住居			250000	円
食費			300000	円
通学に要する交通費			0	円
教科書、教材費			0	円
その他大学に支払った経費			0	円
光熱費			70000	円
その他 (日用品)			50000	円
その他 (雑費)			50000	円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名 * 全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類 ^{ex.} 正規、聴講	単位数	単位互換認定申請の有無
1 Development Economics	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
2 Economics of Poverty	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
3 Islamic Economics and Finance	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
4 Entrepreneurship	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
5 Bahasa Indonesia	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
6 Human Resources and Labor Economics	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
7 Natural Resources and Environment Economics	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
8 Monetary Economics	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
9 Academic Listening	正規	1	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
10 Indonesian Economy	聴講	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

* 登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください。

交換留学生のみ授業開始1週間の間登録可能。授業登録サイトまたは、教授に直接頼むのどちらか。

3-2. 授業内容、方法に関して

授業は英語で行われ、最初のクラスでグループに分かれることが多い。そのあと、グループごとに課題が出されたり、プレゼンテーションを行う。

3-3. 語学力について

英語はリスニング能力が高くなったと思う。また、インドネシア語が上達するまでは、英語で友人と会話していたのでスピーキングも伸びたと思う。インドネシア語は定期的に友人に教えてもらっていたので、半年程度で日常会話レベル程度になった。

3-4. 図書館など学内施設について

各学部に図書館が設置されているのに加え、中央図書館もある。パソコン室や、ジム、競技場、バスケットコート、食堂などたくさんある。

3-5. その他

4. 生活面 * 気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。

4-1. 住居について

大学から紹介されたアパートに10か月住んだ。留学生のほとんどが同じアパートに住んでいた。部屋は一人部屋で、部屋ごとに多少設備が異なる。基本的にシャワーは水のみ。自炊する人はカセットコンロなどを準備する必要がある。

4-2. 食生活について

味付けは辛いもの、甘いものがとても多い。値段はかなり安く、大学の食堂であれば200円で十分。主食はご飯だったので、ありがたかった。衛生面があまりよくなく、お腹を壊す人も多かった。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

アパートには有料のWifiがある。また持ち運びできるモバイルWifiもあるのでそれを使うと便利。携帯電話は、電話専用としてインドネシア専用のものもあったほういい。

4-4. 服装について

授業を受ける際は、ラフな格好は禁止で、長ズボンと靴でないといけない。半ズボンとサンダルは禁止だった。

4-5. 健康管理について

到着して1週間後に熱が出たが、それ以外は健康だった。

4-6. 保険、OSSMAの利用 * 利用実績等をご記入ください

加入はしていたが、利用する機会がなかった。

4-7. 課外活動について

大学のサッカー部と学部のフットサル部に所属した。また、友人の伝手で現地の日系企業の会社でインターンをした。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

大学からアパートまでの帰り道のお店によく立ち寄っていたので、そこで仲良くなり、よく話すようになった。またBIPAプログラムというインドネシア語を学ぶプログラムに参加している日本人の人にもお世話になりました。

4-9. 日本から持参してよかったもの

お味噌汁、お土産

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

日用品(近くのモールで買える)

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

左手は使わない、頭を撫でない、挨拶の時は握手するほうが親近感がわいてもらえる。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行 * 複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。

ex) 【イギリス・ロンドン&フランス・パリ(観光)】〇〇年〇月(5日間)、約5万円

カリマンタン 11月(3日間) 3万円、
 バリ 2月(4日間) 3万円、
 ロンボク 5月(4日間) 3万円

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

散歩、運動、辛い物を食べる

5. 報告 * 5-1~4は、年度末発行の冊子「海外派遣留学報告」の原稿となります。

5-2. 留学先大学について(150~200文字)

ジャカルタの南に位置するデポックという都市の中にあるインドネシア大学は、広大なキャンパスにインドネシア最高峰の優秀な学生が集まる大学です。図書館、食堂、パソコン室遊技場など設備も非常に充実しています。

5-3. 留学中の様子(450~500文字)

留学当初は、交換留学生と交流する機会がとても多かった。交換留学生という同じ立場だったので、共有できる問題や悩みが多かった。自分の時は、オランダ、ドイツ、フランス、韓国、タイ、日本からの留学生が多く、同じ国の友人同士で固まって行動してしまうことも多々あった。そのため、フットサルなどのスポーツを通じて、積極的に交流を持とうとした。また、インドネシアの友人をたくさん作りたかったので、インドネシア語の勉強を必然的に迫られた。運よく、インドネシア語を教えてくれる友人を見つけることができ、彼と一緒に定期的に勉強するようになった。3か月ほどで何となくコミュニケーションが取れるようになったと実感でき、それがモチベーションになり、さらに勉強した。他にも留学中に様々なことに挑戦したいと思い、大学のサッカー部、学部にフットサル部に所属した。コーチがインドネシア語で話した内容を学生に訳してもらい、練習の理解をした。たまに理解できず、一人だけ違うことをしてたのは恥ずかしかったが、いい思い出である。また、友人の伝手でインターンシップをすることもできた。約10か月半という留学を終えて、本当に様々な経験をすることができました。辛かったこと、苦しかったこと、悔しかったこと、楽しかったこと。すべてが私の中で大切な経験です。留学を通じて、少しはたくましくなったのではないかと思います。日ごろから親に頼ってしまっていた私が、自分一人でインドネシアという異国で生活し、10か月半過ごすことで、人と協力することの大切さや、主体的に動くようになりました。最後に、いつも優しく見守ってくれている家族にとっても感謝しています。

5-4. 留学希望者へのアドバイス(300~400文字)

何事においても準備がとても大切になる。留学においてもそれは例外ではない。希望すればだれもが留学できるわけではなく、中にはビザを取得するのに基準を設けている国もある。また、しっかり計画を立てることも重要である。留学に行く前の準備、留学中に何をするのか、そして留学後に自分はどうなりたいのか。この計画を立てるにはビジョンがなければならないが、留学を志す人ならなにかしらビジョンがあるはず。そのビジョンに近づくための留学という貴重な経験をより充実させるため、計画をしっかり立ててほしい。留学中は様々なことが起こり、予想外のこともある。その中で、自分の立てた計画があれば、そのような状況の中でも、ビジョンへ近づくための手助けとなると思う。

5-5. 留学を終えて * 派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がついた部分、不安に思うことなどなんでも。

そもそも私が留学することに対して、両親は反対だったのですが、学生時代に世界を知りたい、また自分の知らない新たな経験をたくさんしたいという強い思いがありました。また、このチャンスを逃したら絶対後悔することになると思い、両親の説得を試みましたがあまりいい返事を得られませんでした。最終的には、渋々ながら了解を得ることができたのですが、早いうちに相談すべきでした。親の懸念材料は、留学先であるインドネシアの治安でした。さらに、私が親から離れて暮らしたことがなく、一人で暮らしているのかも不安だったようです。私としては、ライオン箱を崖から落とすという言葉があるように、親は子をあえて厳しい環境へ放り込むものかと思ったら、私の両親の場合はとても温室栽培のような考え方でした。そのため、最後まで説得に苦労しましたが、最終的には応援して日本から送り出してくれました。留学を終えて、本当に様々な経験をすることができました。

お疲れ様でした